

多文化共生の社会づくり - これまでとこれから

国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化の違いを認め合い、共に生きていく



日本に暮らす外国人は約 264 万人で、人口の2%となっています。入国管理法改正により、2019年4月以降、外国人住民のさらなる増加が予想されます。外国人も日本人も住みやすいまちを目指すにはどうすればよいか？本講演会では、講師とともに、「地域の国際化」や「多文化共生」の歴史を振り返るとともに、これからの10年について考えたいと思います。

講師 **やま わき けい ぞう** さん

明治大学 国際日本学部 教授

2019年

2月 **19**日 **火**

午後7時～9時

(開場 午後6時30分)

三鷹国際交流協会 MISHOP

東京都三鷹市下連雀 3-30-12
三鷹市中央通りタウンプラザ4階

- 定員 先着70名
- 参加費 無料
- 主催・申込 (公財) 三鷹国際交流協会まで
直接または電話、協会HPから
TEL 0422-43-7812
<http://www.mishop.jp> 検索 mishop

● 山脇 啓造 プロフィール ●

明治大学国際日本学部教授。東京大学法学部卒業、コロンビア大学国際関係・公共政策大学院修了。専門は移民政策・多文化共生論。2000年頃から多文化共生社会の形成に向けた様々な政策提言を発表。総務省、外務省など関係府省や東京都、愛知県、宮城県など地方自治体の外国人施策関連委員を歴任。2012年9月、内閣官房によって、「世界で活躍し『日本』を発信する日本人」に選出される。2018年7月、外国人の社会統合の推進への寄与により、外務大臣表彰を受賞する。

主著に『多文化共生の学校づくり—横浜市立いちよう小学校の挑戦』(共編、明石書店)等。自治体国際化協会の多文化共生ポータルサイトにて、「多文化共生20の時代」と題したコラムを毎月連載中。



(公財)三鷹国際交流協会(通称 MISHOP ミショップ)は、(1)地域における国際交流、(2)国際理解、(3)外国籍市民への生活支援活動の3つのテーマを柱に活動しています。会員(ボランティア)が中心となり、三鷹市と協働で、地域の国際化を推進しています。